

檜葉町教育委員会だより

ならはっ子通信



令和3年7月20日

第4号

発行：檜葉町教育委員会

地域力を結集して、豊かな夏休みを!!

「新型コロナの影響で夏休み遊びに県外に行けない!」、「檜葉で夏の思い出をつくらせたい!」といった様々な声を受け、教育委員会では、次年度から予定している国の「放課後子供教室事業」を前倒しし、夏休みに檜葉町オリジナルの体験活動教室である「ならはっ子こども教室」を開催することにしました! スポーツや文化活動、自然体験などを小学生対象に実施しますが(こども園も今後、計画中です!)、一番のポイントは、地域住民や地域団体にご協力をいただきて、開催するということ!!! 檜葉町の人々や環境と出合い、つながることで、子どもたちが「檜葉っていいな!!!!」「こんなすてきなところがあるんだ!!!」と町をますます好きになってくれるといいなと思います。

教育委員会では、今後も長期休みや放課後など、様々な場面で、地域の皆さんに子どもたちの教育に参画していただき、住民間・団体間のつながりもつくっていきたいと考えています。「子どもと関わりたい!」「〇〇を教えたい!」といったニーズをお持ちの地域の皆様、ご協力をお待ちしております!!!



今月のミニ講座 相双教育アピール③

家庭教育力を充実させましょう!!!

地域との協働、学校教育の転換、そして今回は家庭の教育力に目を向けています。家庭教育はすべての教育の源。特に就学前の乳幼児期の子どもたちにとって、最も重要な教育の機会です。といっても、「家庭=教育の機会」とはなかなかイメージできないもの。県の教育委員会では、ふくしまの「家庭学習スタンダード」という冊子も作成しているので、ぜひご覧になってみてください。

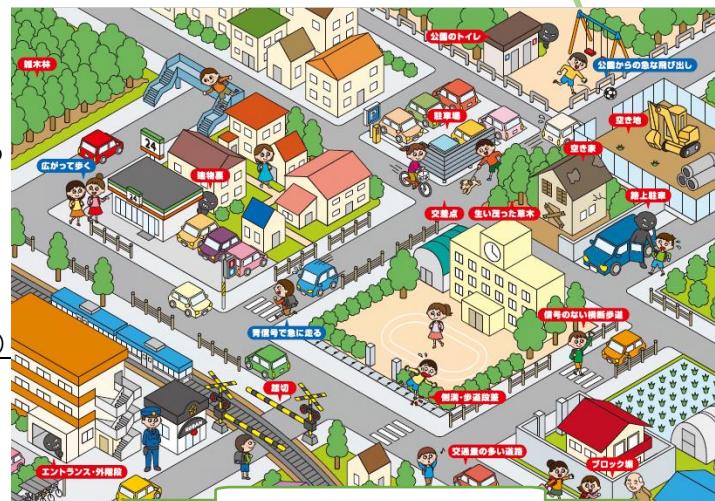


さて、家庭において親には3つの役割があるといわれています。一つ目は「ペースメーカー」。学習を促したり、生活環境を整えたりすることで、規則正しい学習や生活習慣の形成を支援する役割です。二つ目は「サポーター」。子どもたちが自信を無くしたとき、話し相手になって、心の支えになるという役割です。最後に「ファシリテーター」。学習で言えば、教材を準備したり、学習スペースを確保したりして、子どもたちの家庭学習の環境を構成します。こうした役割は、もちろん、保護者の皆さんだけではありません!!! おじいちゃん、おばあちゃん、地域の皆さん…子どもたちに関わるたくさんの大人がこうしたスタンスで子どもたちと関わることで、日本一の教育に近づきます!!! 家庭教育、地域教育の充実に向け、協働しましょう!!!



地域で子どもたちの登下校を見守りませんか？

千葉県八街市で発生した児童5人が死傷した事故。本当に悲しい事故でした。文科省では、子どもたちが安全・安心に登下校できるように、地域の皆さん之力を借りた見守り活動を推進しています（詳細は、「やってみよう！登下校見守り活動ハンドブック」参照）。**登下校時刻に合わせて花に水やりをする、犬の散歩をする、掃き掃除をするといったことも見守り活動になります。**ぜひ、ご参加ください。なお、9月28日（火）こども園と小学校の保護者の皆さんを対象に、次年度以降の小学校の登下校方法についての説明会を開催する予定です。詳細は次号でお知らせします。

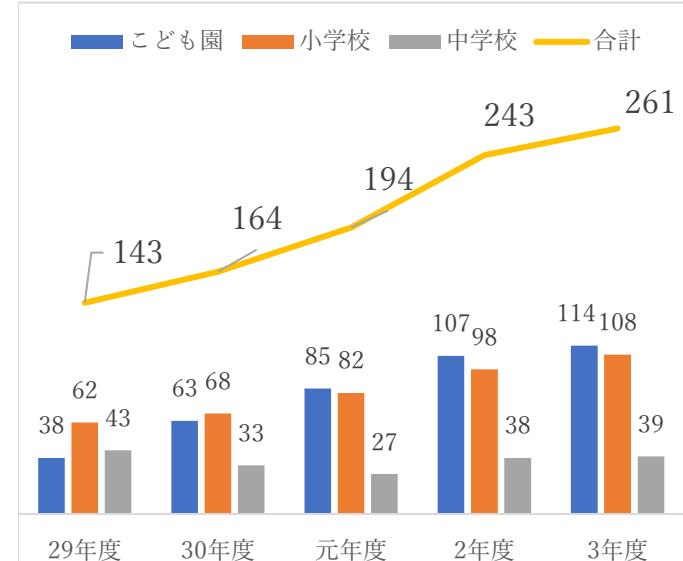


Q & A



Q：子どもの数が増えているといわれていますが、具体的にどのくらい増えっていて、ほかの自治体と比べてどうなのか、教えてください。

A：ご質問、ありがとうございます。檜葉町に戻ってきた29年度からのデータをまとめてみました。特にこども園の園児の数の伸びが顕著であることが分かります。小学校も昨年度半ばに100人の大台に戻りました。令和3年度の相双地域の状況を比べてみても、双葉郡では広野町に次いで、小中学校の児童生徒数は多く、こども園の園児数にいたっては、最も多い人数となっています。（私立幼稚園を除く）



	公立幼稚園	小学校 (義務教育学校)	中学校 (義務教育学校)		公立幼稚園	小学校 (義務教育学校)	中学校 (義務教育学校)
新地町	-	395	222	双葉町	6	30	6
相馬市	65	1848	942	大熊町	4	7	3
南相馬市	290	2005	1119	富岡町	31	34	23
飯館村	54	36	23	川内村	32	53	24
浪江町	27	22	9	檜葉町	114	108	39
葛尾村	6	8	4	広野町	88	170	84

【教育委員会からのお知らせ】

教育委員会では、8月18日（水）の16時から17時30分まで、地域と学校の協働や、次年度から始まるコミュニティ・スクールについて、國の中教審の臨時委員でもある竹原先生をお招きして、講演会を実施いたします。詳細は、檜葉町のホームページや、コミュニティセンターにあるチラシ等に記載しておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。

【編集後記】

残念ながら、なかなかコロナの収束が見えてきません。そんな中でも、日々、子どもたちに関わる教職員の感染をできるだけ予防するため、県の教職員優先接種の依頼を受け、檜葉町に勤務する町外在住の教職員の優先接種も、町では7月に実施いたしました。子どもたちが年齢的に接種できない中でも、集団免疫の獲得により、安全・安心な教育が展開されるといいなと思います。 （文責：檜葉町教育委員会 猿渡 智衛）